

家庭学習の手引き 保護者版

学習は、「学びに向かう意欲や姿勢」や「学び方」を育むことが大切です。これらの「学ぶ力」は、子どもたちにとって、将来にわたり、自分で考え、判断して、課題を解決したり、いろいろなことに積極的に取り組んだりするために必要な力です。また、学校で学習した内容を確実に定着させるためには、家庭学習で復習することが大切です。

学校で生活する時間は、チャイムなどで区切られ、同じ学級の仲間たちと一緒に「学ぶ」ことができます。しかし、家庭ではテレビやゲーム、ネット環境などの誘惑があり、環境面などで配慮する必要があります。そこで、お子さんが自分から進んで一人でも学ぶことができる子どもに育つためのヒントとなるようにこの手引きを作成しました。

「学ぶ力」を育てるためにご家庭でお願いしたいこと

1 お子さんとコミュニケーションをとりましょう

- 音読を聞いたり、わからないときに一緒にノートや教科書で確かめたりする。
- お子さんの学習の様子を見て、がんばりを認めてほめる。
- 学校での出来事を話したら、積極的に聞いてあげて共感する姿勢を大切にする。

2 習慣づくりをしましょう

- 生活リズムを整える。(学力向上につながる)
 - ・早寝、早起き、朝ごはん、睡眠は8～9時間を確保する。
- 生活の中に家庭学習を位置づける。(時間を上手に利用する力を身に付ける)
 - ・家庭学習は毎日続けることが大切。予定があるときは、前もって取り組む。
- スマホやゲーム、インターネット使用のルールを決める。
- 学習の目標や計画を立てる。

3 学習環境を整えましょう

- 学習に集中できる環境をつくる。
 - ・テレビを消す。・スマホ(ゲーム)などをそばに置かない。・机の上を整理する。
 - お子さんがいつでも相談できる環境をつくる。
- ※ 相馬市では、21 時以降はスマホやゲーム機器等、電子メディアの使用をさせない約束になっています。下記を参考に、家庭でも話し合ってみましょう。

【インターネットやスマートフォン等の使用ルールの例とルール作りのポイント】

〈ルールの例〉

- ・使う場所や時間を考える。
- ・夜21時以降は電話やメールをしない。
- ・食事中、入浴中に使わない。
- ・無断でアプリをダウンロードしない。
- ・許可なく写真や動画を撮って投稿しない。

〈ルール作りのポイント〉

- 1 「ルールがトラブルから自分自身を守ってくれる」ことをきちんと伝える。
- 2 お互いに納得できるよう、話し合って作る。
- 3 子どもが守れるルールを作る。
- 4 具体的なルールを作る。
- 5 守れなかったらどうするか決めておく。
- 6 トラブルがあったら保護者に相談するよう決めておく。

◎子どもの成長や生活リズム等の変化に合わせてルールを見直しましょう。

引用:「話し合っていますか？家庭のルール～安全で安心なインターネット利用のために～」文部科学省委託事業 情報モラル教育推進事業 保護者用啓発教材

「親子でスマホとゲームのお約束メイカー」
オリジナルの約束と約束ブックが作れます。

<https://anshin-game.jp/promise/>

ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社



【子どもがやる気になる『魔法の言葉例』低学年バージョン】

小学校1・2年(低学年)

見て、褒めて
やる気を伸ばす！

◎ 時間の目安 1年生20分、2年生30分(学年×10+10分)

【学習する習慣づけのために】



- ・ 言われなくても勉強してるね。すごい！
- ・ 今日学校でどんな勉強したの？教えて。
- ・ すごい！今日の勉強した教科書のページが開けたね。
学校で先生のお話を聞いているからだね。

【できていることをほめましょう】

- ・ 今日の学校での勉強、覚えているね。
- ・ 指でなぞりながら言葉が読めたね。
- ・ 鉛筆が正しく持てているね。
- ・ 正しい順番で字が書けているね。
- ・ まちがえないで音読できたね。
- ・ 大きな声で音読できているね。
- ・ 丸付けは自分でやってみる？(はじめは一緒にやってあげましょう)
→すごい！いっぱい当たっているね。
→間違えたところを直してみよう。
- ・ 自分で丸付けできるね。すごい！



【分からない・できないところがあったときは…】



- ・ 教科書(ノート)を見ながらやってみよう。
- ・ どこがわからない？いっしょにやってみる？
- ・ 最後までできたね。
- ・ 計算問題、丸が増えてきたね。
- ・ 今日は○問もやってがんばったね。

【次の日の学校に向けて】

- ・ 明日は学校でどんな勉強をするのかな。教科書を見てみよう。
※時間は1分間。子どもが音読しても良い。
- ・ 明日の準備をしよう！時間割は何か？
- ・ すごいなあ。自分で準備できたね。一緒に確認しよう。



【子どもがやる気になる『魔法の言葉例』中学年バージョン】

小学校 3・4 年(中学年)

認めて、褒めて
自信をつける！

◎ 時間の目安 3年生40分、4年生50分(学年×10+10分)

【学習する習慣づけのために】



- ・ 自分から勉強できるってすごいなあ。
- ・ お家で決めたルールを守れてえらいね。
- ・ 今日学校でどんな勉強したの？教えて。

【できていることをほめましょう】

- ・ ノートきちんと書いてるね。
- ・ 漢字を使って文章が書けてるね。
- ・ 間違えた問題のやり直しができてるね。
- ・ ずいぶん集中してがんばっていたね。
- ・ 難しいこともできるようになったね。
- ・ 自分で分からないことまで調べていてすごいね。



【分からない・できないところがあったときは…】



- ・ 教科書(ノート)を見ながらやってみよう。
- ・ もう一度間違えた問題をやってみよう。
- ・ 一緒にやってみよう。
- ・ 最後までできたね。最後までやるのが大切なんだよ。
- ・ 今日は○問もやってがんばったね。
- ・ 丸付けは自分でできているね。

【次の日の学校に向けて】

- ・ 明日は教科書のどのページの勉強をするの？
- ・ 明日の準備は終わった？自分で準備できてすごいね。
一緒に確認しよう。
- ・ 必要な物が自分から言えるってすごいなあ。



【子どもがやる気になる『魔法の言葉例』高学年バージョン】

小学校5・6年(高学年)

見守り、認めて
自主性を伸ばす！

◎ 時間の目安 5年60分、6年70分(学年×10+10分)

高学年になったら…

一人前に接してもらいたい時期です。考える力も大人並みになり、時には大人への反抗も見られます。自分で決めさせ、「やればできる」との自信を持たせましょう。見守って、できたところを褒めるのがポイントです。

【学習する習慣づけのために】



- ・ 計画を立てて勉強できているね。
- ・ 時間を決めて自分でできるなんて、すごいね。
- ・ お家のルールを守れてえらいね。

【会話を通して】

- ・ 今日の授業、どんなことをやった？
- ・ このニュース、知ってる？どう思う？
- ・ 今度のテスト、どんな目標にするの？応援してるよ。
- ・ 高学年の勉強って難しいよな。よくがんばってるね。
- ・ お父さんも6年生の時は…。
- ・ 難しいことも、あきらめないで繰り返しやるといいよね。



【ワンポイント・アドバイス】



学習内容が難しくなります。
その授業で分からなくても、後でじっくり考えると理解できる子どももいます。だから家庭学習で教科書やノートをもとに、もう一度振り返る時間が大切なのです。
一緒に教科書を見る、次の日先生に何を聞くかなどの相談にのるのも良いですね。

【子どもがやる気になる『魔法の言葉例』中学生バージョン】

中学生

計画的・継続的に学習を進め、
進路を明確にして取り組む！

中学生になったら…

子どもの学習の様子をチェックしたり、過度に言葉をかけたりするのは逆効果。約束事を決めて、優しく大きな心で見守りましょう。

- ① インターネットやスマートフォン等の使用はルールを決めましょう。
- ② 受験そのものよりも、将来何になりたいのか、どのような道に進みたいのかを、時々確認するようにしましょう。
- ③ 学習の目標を子どもに決めさせて、達成するためには親として何を協力できるかを話し合いましょう。
- ④ 食事時などに、学校での出来事を話したら、積極的に聞いてあげましょう。「聞き出す」のではなく、相づちを打ちながら「共感する」姿勢を大切にしましょう。

【会話を通して】



- ・ 部活動との両立は大変なのによく頑張っているね。1週間全体で学習を考えてみたらどうかな？
- ・ 自分で決めたようにできたね。立派なことだよ。
- ・ ○○のことについて、よくがんばっているね。

【ワンポイント・アドバイス】

- 具体的に褒めないと、思春期の子どもは聞いてはくれません。
- ・ テストの結果を受けて、できるようになったところを褒める。
「テストの目標を達成できたね。」
 - ・ 達成できなくてもそれに向けてがんばった過程を褒める。
 - ・ 兄弟や友達とは絶対に比べない。自分と比較してもいけませんよ。

